

投資事業評価調書（新規）

部課室名	水産課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	水産課長 小西 一弘 (近藤 敬三)	内線	4163
------	-----	---------------------	--------------------------	----	------

事業種目	沿岸漁場整備開発事業	事業名	事業区間	総事業費	約5億円
		広域型増殖場造成事業	南淡地区	内用地補償費	- 億円

所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
三原郡南淡町地先			H14 年度	H14 年度	H16 年度

事業の目的	事業内容
<p>瀬戸内海では、海面の埋め立てによる浅海域の藻場の減少によって、稚魚の成育環境が悪化し、再生産力が低下している。また、限られた漁場で多くの漁船が操業するため、水産資源への漁獲圧力が高くなっており、その減少が懸念されている。水産資源の維持培養を図るため、稚魚等の育成に適した増殖場の造成を行う。</p>	<p>対象生物 : マダイ 増殖場造成 : 36 ha (藻場造成、餌料培養礁、保護礁) 事業費内訳 : 国50%、県50%</p>

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<p>本事業は、次期水産基盤整備長期計画（H14～H18）において、県瀬戸内海海域の水産資源並びに漁業生産の維持増大を図るための主要な事業の一つとして位置付けられる予定である。</p> <p>マダイは、沿岸の漁獲魚の中で高級魚として重要であり、地元の要望が強く、受益漁業者が84%を占める。</p> <p>南淡町におけるマダイ幼魚が生息する海域（5～30m）は約3695haであるが、漁港・養殖場等の施設や魚礁を設置した既漁場開発面積を考慮すると、約1645haが造成可能な面積である。そのうち、増殖場設置に影響を受ける底びき網等の操業状況等や海底状況を検討して増殖場面積は36haとなった。</p> <p>増殖場の造成によって14トンの増産が期待され、地域活性化の貢献が大きい。</p>
(2)有効性・効率性	<p>投資効率は1.14であり、事業としての効果が期待できる。</p> <p>南淡地区は一本釣、刺網等の沿岸漁業が盛んであり、増殖場の造成による漁業生産増大がより期待できる地区である。</p> <p>地元漁業者、南淡町の期待も大きく、事業実施時の協力を得ることができ、また、施設の維持管理を地元漁業団体に委託予定である。</p>
(3)環境適合性	<p>増殖場造成による藻場の造成や生物量の増大によって、周辺海域の環境の修復・創造が期待される。</p>
(4)優先性	<p>近年、南淡地区における漁獲量は幾分減少傾向を示しており、さらに生産者価格が低迷しているため、漁業生産金額が低下しており、漁業経営は苦しい状況にある。</p> <p>この現状に対して、比較的単価の高い高級魚であるマダイの増産による漁業生産金額の増大によって漁業経営の安定に寄与する。なお、淡路島にけるマダイ増殖場は、平成11年度に鹿之瀬地区が完成して以来、造成を実施しておらず、地元漁業者の強い希望がある。</p>

評価の結果	着手妥当	左の理由	上記内容により着手が妥当と認められた。
-------	------	------	---------------------